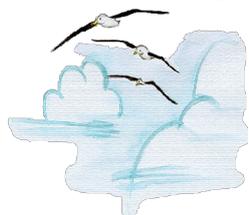


第14回

手づくり紙芝居コンクール



作品募集



日本独自の文化であり、世界最小の演劇である紙芝居。その紙芝居を実際につくり、演じることにより、子どもたち一人ひとりがさまざまなお話の魅力に触れ、読書への思いを育てていくために、今年も、自作自演による「手づくり紙芝居コンクール」を実施します。皆様のご応募をお待ちしています。  
※作品の申込みについて、詳しくは募集要項（応募票もついています）をご覧ください。

応募締切 平成19年9月7日（金）  
※郵送の場合は、9月7日の消印有効

最終審査会：平成19年11月3日（土）

（県立図書館2階メディア・アート・ホールにて行います）

主催：和歌山県教育委員会 主管：和歌山県立図書館

〈平成19年度和歌山県子どもの読書活動推進事業〉

☆作り方アドバイス

- (1) 表紙には、タイトルと制作者名を書きましょう。
- (2) 絵は大きくはっきりと描き、画面には文字を書かないようにしましょう。
- (3) 主人公を浮き立たせるように、周りにはできるだけ書き込みをしないようにしましょう。
- (4) 物語も絵もシンプルに描きましょう。
- (5) セリフを生かし、耳に心地よい言葉づかいにしましょう。
- (6) 遠目のきく絵を描きましょう。
- (7) 右から左への場面の移動を考えましょう。
- (8) セリフは作品に、あらすじは原稿用紙に書きましょう。



♪ 夏休み子ども映画会のお知らせ ♪

日時：平成19年8月19日（日）13時30分～（受付13時～）

場所：和歌山県立図書館 2F講義・研修室

主催：和歌山県立図書館

楽しいアニメーション映画を親子そろってご覧ください。 ※入場料は無料です！

①がんばれ！小象の交通安全パトロール隊（17分）②よくばり子犬のワンチャン（24分）

③山に輝くガイド犬平治号（28分）

④釣りキチ三平～釣り場の子ぎつね～（25分）

# 「図書館ボランティア」をご存じですか？

今回は、図書館で活躍する「図書館ボランティア」を紹介します。

## ○ 県立図書館本館のボランティア

### ・読み聞かせのボランティア

グループ名	担当 日
きいちご	毎月第2土曜日
コスモス	毎月第3土曜日
もこもこ	毎月第4土曜日

※児童室・おはなしコーナーにて活動  
時間は14:00~14:30



### ・映画会のボランティア

《てまり》は、年4回、楽しいアニメや映画をたくさん上演しています。

### ・本を整理してくれるボランティア

返却されてきた本を元の決まった位置に戻したり、本を見やすいように整えたりするボランティアです。個人又はグループで、利用者が多くなる土曜日や日曜日を中心に、月一回程度約2時間活動してくれています。

### ・対面朗読のボランティア

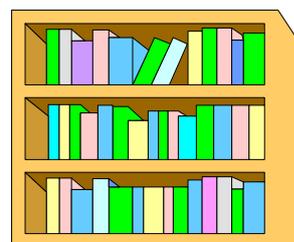
《グループ声》の方々が活動をしていています。

## ○ 県立紀南図書館のボランティア

### ・読み聞かせのボランティア

グループ名	担当 日
ゆうゆうおはなしかい	毎週日曜日

※B i g・U内グループ研修室にて活動  
時間は11:00~11:30



### ・対面朗読等のボランティア

《ともしび》が、録音図書の作成や対面朗読、電話での地方新聞の朗読(週一回)などの活動を行っています。録音図書の作成では、25人の利用者に対して90分テープで116本を作成〔平成18年度〕し、たくさんの方々にご利用され、喜ばれています。

\* 生花やフラワーアレンジメントで館の美化に協力して下さる方もいます。

今回は、図書館を支えて下さる心強い仲間について紹介しました。図書館でこうした図書館ボランティアの方々を見られたら、「ありがとう」と声をかけてくださいね。

今回は、第2次世界大戦後の県立図書館の状況についてお話しします。

第2次世界大戦の敗戦により、日本の図書館界は、明治以来未だ経験をしていない大転換を余儀なくされ、戦後のインフレ経済と社会不安のきびしい現実の中で、館屋、設備、蔵書の復興を如何に行うか、アメリカ軍の指導による「教育の自由主義化」に沿い如何に新しい体制づくりを行うか、新しい図書館運営の担い手となる図書館員を如何にして養成するかという大問題を抱えたのが、終戦直後から昭和24年頃までの時期でありました。

昭和22年5月3日に日本国憲法が公布され、同年末より旧図書館令並びに関係法規は失効し、新図書館法が制定される昭和25年まで、図書館は事実上法的に空白状態に置かれました。

この頃の県立図書館は、幸いなことに戦禍を免れたとはいえ、日本軍並びに米進駐軍の施設として使用されたため、館屋や内部施設などの受けた痛手は大きく、終戦後、昭和20年9月1日、移転先より本館に復帰しましたが、業務開始には余りにも困難な状況にありました。当面する一部の設備を整え、辛うじて開館にこぎつけたのもつかの間、同年10月、本館建物がアメリカ進駐軍に接收され、全蔵書とともに再び和歌浦双青寮に移転、仮営業を余儀なくされました。双青寮での仮営業は、一般の読書熱に充分応えることができないまま、文化施設としての本館建物は、翌21年4月返還され、同年6月1日、再び城内本館に復帰、館長以下7名の職員によって再開されました。荒れた館内を整備し、閲覧が禁止されていた図書や出版物の解禁処置などを行い、本格的な営業開始に備えました。こうして同年6月30日、本館復帰後、初開館業務を開始しました。

ところが、被災を免れた数少ないビルのひとつであった本館は、被災した諸官公衙の格好な仮事務所移転先として注目され、海草地方事務所をはじめとして、数々の仮事務所が相次いで移転開設して業務を開始することになりました。被災時、非常措置としてやむを得ないことながら、本館の正常業務が大いに制約を受けました。

終戦直後の混迷の中、第7回通常国会で成立した宿願の新図書館法が、昭和25年4月30日に公布されました。新図書館法発足当初の本館においては、開架式図書運用方式が本格的に採り入れられることになりました。この方式は従来の書庫出納方式と異なり、日本十進分類法によって分類された図書を利用者が直接手にして、希望の図書を自由に利用することができるものでした。これと並行して戦前に収集した旧蔵書3,000冊と、昭和25年以降受け入れた図書すべてが同分類法に切替られ、分類目録、著者書名目録などに新しい目録の整備が進められました。

開架式図書運用方式が始まった昭和25年頃から利用者に親しまれ、館内閲覧者数、冊数ともに急増し、昭和26～29年に戦後最高を記録することになりました。

# 図書館カレンダー

(平成19年8月～平成19年11月)

8月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6 休館日	7	8	9 整理 休館日	10	11 おはな し会
12	13 休館日	14	15	16	17	18 おはな し会
19 映画会	20 休館日	21	22	23	24	25 おはな し会
26	27 休館日	29	29	30	31	

9月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3 休館日	4	5	6	7	8 おはな し会
9	10 休館日	11	12	13 整理 休館日	14	15 おはな し会
16	17 祝日開館	18 休館日	19	20	21	22 おはな し会
23 祝日開館	24 休日開館	25 休館日	26	27	28	29
30						

\*9/17(月)は祝日開館のため、9/18(火)は振替の休館日となります。

\*9/24(月)は休日開館のため、9/25(火)は振替の休館日となります。

10月

日	月	火	水	木	金	土
	1 休館日	2	3	4	5	6
7	8 祝日開館	9 休館日	10	11 整理 休館日	12	13 おはな し会
14	15 休館日	16	17	18	19	20 おはな し会
21	22 休館日	23	24	25	26	27 おはな し会
28	29 休館日	30	31			

11月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3 祝日開館
4	5 休館日	6	7	8 整理 休館日	9	10 おはな し会
11	12 休館日	13	14	15	16	17 おはな し会
18	19 休館日	20	21	22	23	24 おはな し会
25	26 休館日	27	28	29	30	

\*10/8(月)は祝日開館のため、10/9(火)は振替の休館日となります。

※予期なく変更する場合がありますので、ご了承ください。

開館時間：火～金 閲覧室10:00～19:00 児童室10:00～17:00

土・日・祝日 閲覧室10:00～18:00 児童室10:00～17:00

※ 紀南図書館の児童コーナーは閲覧室と同じ

図書館だより

第29号(平成19年8月1日)

発行 和歌山県立図書館

〒641-0051 和歌山市西高松一丁目7番38号

<http://www.wakayama-lib.go.jp/library/>

Te l 073-436-9500

Fax 073-436-9501